

こんにちは！ 日本共産党の

# 大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2008年12月25日 114

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona\_toukai@yahoo.co.jp

電話・ファックス 029-284-0761

## 住民の声を大切に、くらしの安全まもるために全力

力あわせて原子力施設の安全確保・産廃焼却施設建設に反対

2008年も残り1週間  
お世話になりました



議員生活3期目のスタートをきったのは、4月から始まった後期高齢者医療制度の廃止、当面、保険料の減免を行うよう求めるとりくみでした。

政府は、「お年よりいじめの制度」との世論におされ、次々と手直ししていますが、根本的に廃止すべき制度です。

こうしたなか、村では、ついに来年度、村独自に保険料への助成を行うことを発表しました。

しかし同時に、介護保険では「制度維持のためには、現行3980円の保険料を、09年度大幅に引き上げなければならない」との意向も示しています。

引き続き、安心できるくらしのために、国の社会保障費の大幅増額を求めるとともに、村においては、一般財源をあてて、「保険料の引き上げは絶対に行わないよう」、みなさんとごいっしょに求めてまいります。

原電東海第二発電所はトラブル続きです。しかし、耐震安全調査報告も中途のなか、高経年化技術報告により、60年運転を可能としていることや、出力の5%増強計画まで発表しています。

大地震発生の惨状にきちんと学ぶなら、1つ1つの問題への信頼される対応として、原電も村も、全住民対象に説明会や意見聴取など行うべきではないでしょうか。

川根区への産廃焼却施設建設計画については、400名余の原告団で許可取消訴訟となり、1年がすぎました。

裁判は次回09年2月4日、県側は、大豊プラントの資金計画について明らかにする予定です。来年はより具体的に、双方の主張が繰り広げられることと思います。このたかいを引き続き支援してまいります。

みなさんのご支援と裁判の傍聴をお願いいたします。

## 志位委員長、トヨタと初会談

大量解雇を中止・撤回し、雇用を守る責任をはたすよう求める

24日、日本共産党本部にて

日本共産党の志位和夫委員長は、12月24日、トヨタ自動車の古橋衛専務、宮崎直樹常務と党本部で会談し、トヨタ自動車とグループ企業がすすめている大量解雇の方針を中止・撤回し、大企業として雇用に対する責任を果たすよう求めました。

これは、志位委員長の申し入れにトヨタ側が党本部で会談したいと応じて実現したものです。大企業の幹部が党本部を訪れるのは初めてです。概要をお知らせします。詳細は、「しんぶん赤旗」(12月25日付)をお読みください。

### 【志位委員長】

1. 「非正規切り」は、人道に照らして許されない。
2. 法令を順守すべき。契約中途の解雇は法令違反。
3. 大量解雇が避けられない合理的理由がない。
4. 競い合って大量解雇をすすめれば日本経済を雇用破壊と景気悪化の悪循環に突き落とすことになる。

### 【トヨタ幹部】

1. 人道問題との指摘には、「ある側面そうだと思う」。期間従業員の位置づけについては、「従業員の一つの形態と考えている」。

2. 「トヨタ本体では中途解約は行っていない。グループ企業、仕入先にも同じ姿勢でやってほしいと言っている」。契約満了の「雇い止め」については、「やれることは可能なかぎりやっているつもり」。
3. 「配当は3月期決算を見て決める。内部留保を取り崩してまで(期間従業員の雇用を維持することはない)というのが経営判断。価値観の違い」。
4. 内需に軸足を移すという「論理もあるかもしれない」が、「国内での需要がないので外に出た。需要が先か雇用が先かという議論だと思う・・・」。



## 志位委員長、トヨタと初会談



古橋衛トヨタ自動車専務取締役(中央左)に要求書を手渡す志位和夫委員長 = 24日、日本共産党本部

## いすゞ本社に申し入れ



いすゞ自動車本社に「違法解雇を撤回せよ」と要求する志位和夫委員長(左)ら = 11月26日、東京都品川区

### いすゞ、中途解雇撤回

期間社員550人 世論と運動で前進  
年内希望退職ねらう

いすゞ自動車は12月24日、契約途中にもかかわらず26日付で解雇を通告していた期間・派遣労働者千四百人のうち、直接雇用の期間社員五百五十人について解雇を撤回するとともに、新たに事実上の希望退職を募集する方針を明らかにしました。

(2008年12月25日(木)「しんぶん赤旗」より)

## 大名みえ子のひとりごと

暑い寒いとは別として、日本特有の四季の移ろいを十分感じる心のゆとりをなくしているのは少々さびしい。ひた走りに走っている感じで、気づいたら、今年もあと1週間。

寄せていただいたご要望やご意見は、本当に大切に思う。解決するために、話し合ったり、連絡をとりあったり、手紙にしたり。

それにしても、村民のみなさんの国政への怒りはあまりに大きい。「後期高齢者医療制度って何なのよ。ホントにばかにしている」。「大量解雇の話も考えられない規模だね。ひどい。国が何とかしなければならぬでしょう」と。

こんなとき、政府にはもちろん、大企業財界にでさえきちんと提言し、改善を求め、実際に政治・社会を動かしている政党があることは改めてすばらしい。

来年も、「軸足はいつも住民」でいこう。

### 奇襲された烏骨鶏

先日の出来事にはびっくりした。いつの間にか家族になっていた1羽の烏骨鶏が、少し長くけたたましいなきごえを放った後、静かになった。「これはただ事ではない」と思い、あわてて外に出てみると、鶏の姿はなく、ものすごい量の羽根が広がり落ちていた。そして、飛び立つ鷹のような黒い鳥の姿が見えた。「エーッ、どういうこと？まさか!」、鷹のえさになっている姿を想像すると胸が苦しくなってしまう。どうしようもなかった。

たくさん羽根を掃除して、家に入ってしまったら、隣の母が「コッココッコと声がするのでよくみたら、小振りになった姿で、寝床のクワイの棚にいた」と。ケガの有無はわからない。一体何がおきたのか未だに謎。